



高澤 公  
議員  
行政改革を進める組織機構と  
改革推進方法について

行政改革を進める組織機構と  
改革推進方法について

質問  
山ノ井保育園移転計画が思  
わしくなかった原因と、その  
対応について伺う。

また、市は、0歳から18歳



大滝 豊  
議員  
中山間地域・過疎地域における  
集落の実態について

中山間地域・過疎地域における  
集落の実態について

質問

市は、地域の実情を把握し  
地域の活性化を図る目的で、  
平成22年度、企画財政課に地  
域振興係を設け、地域担当者

までの一貫教育を行い、日本  
一の子どもを育てることをう  
たい上げているが、教育委員  
会の組織が変わっていない現  
状では、一貫教育の推進に支  
障をきたすのではないかと。き  
め細かな温かい目線で子ども  
たちを育てるためにも、教育  
委員会の組織機構改革を進め

制を開始した。今後も高齢化  
が進んでいる地域の新たな対  
策が必要と思われるが、新年  
度に向け、次の点について市  
の考えを伺いたい。

- ・高齢化の現状について
- ・地域担当者制の現状と成果、  
課題について
- ・道路整備及び交通政策について

る必要があると思うが、どう  
か。

大きなプロジェクトを企画  
立案し、実行、実用に移るま  
では様々な局面があり、1  
つの部・課では対応できない  
こともあると思う。部・課の  
横断的な組織が必要ではない  
か。

教育長答弁

山ノ井保育園の移転の遅れ  
については、建築確認申請の手  
続きに時間を要したことが原  
因と考えている。市としては、  
設計委託先と連絡を取りつ

・自然を生かし地域が元気に  
なる取り組みについて

市長答弁

高齢化率については、市全体  
の伸びは緩やかになってきて  
はいるものの、依然として高い  
率となっている。

地域担当者制は平成22年度  
から開始したものであるが、地  
域担当者が直接地域に向向  
き、生の声を聞き、実情の把握  
と課題解決に向けた支援のあ  
り方を、担当課を交えて検討  
している。地域に関する行政窓

つ、一日でも早く手続きが完了  
するよう努めてきた。

市長答弁

教育委員会の体制について  
は、子ども一貫教育を推進する  
ため、平成22年度に子ども課  
を設置し、子ども関係の施策  
の推進を一元化して進めてき  
た。

国レベルでは、教育委員会の  
問題点やその要因などが論じ  
られているが、本市では、現行  
の組織体制で推進できるもの  
と考えており、組織改編は考  
えていない。

口を明確化したことで、分か  
りやすくなった、対応が早く  
なった等の評価も頂いており、  
一定の成果はあったと思ってい  
る。課題としては、制度周知の  
必要性が挙げられる。

道路整備については、新たな  
道路の建設は大変厳しい状況  
にあるが、可能な限り検討を  
している。既存道路は、修繕や  
除雪により、日常生活に必要  
な市民の足が確保されるよう  
努めていく。また、交通政策に  
ついては、地域の実情や利用の  
実態を勘案しながら、引き続  
きコミュニティバスや乗合タク

また、大きな事業等について  
は、1つの部・課では対応でき  
ないものも確かにあるが、この  
ような事業については、所属を  
超えたプロジェクトチームを  
編成することなどにより、対応  
していきたくと考えている。



シー等の事業を継続してい  
きたい。

地域が元気になる取り組み  
については、豊かな自然資源な  
ど、それぞれの地域特性を生  
かし、来年度からスタートする  
「地域づくりプラン」策定の中  
で各地区から積極的に取り組  
んでいただきたいと考えてい  
る。

